

河川事業特集 < 河川に流れる水量を調整する遊水地 >

札幌開発建設部では、石狩川流域において、昭和 56 年洪水を安全に流下させることを目標に千歳川遊水地群や夕張スーパーダムなど、洪水を調節するための施設を整備しています。その取り組みの一環として、岩見沢河川事務所では、現在北村遊水地の事業に着手をしています。



S56.8 洪水 旧美唄川合流点付近の様子

北村遊水地の特徴

遊水地は洪水が発生した際に洪水の一部を貯めて、河川の水位を下げるための施設です。遊水地内は洪水調節時に水を貯めるため、流出のおそれのある建物は移転補償します。北村遊水地の場合、遊水地内が優良農地として利用されていますので、周囲堤や排水機場などの施設を整備する土地以外は地役権を設定し、遊水地整備後も農地として利用できるようにしています。



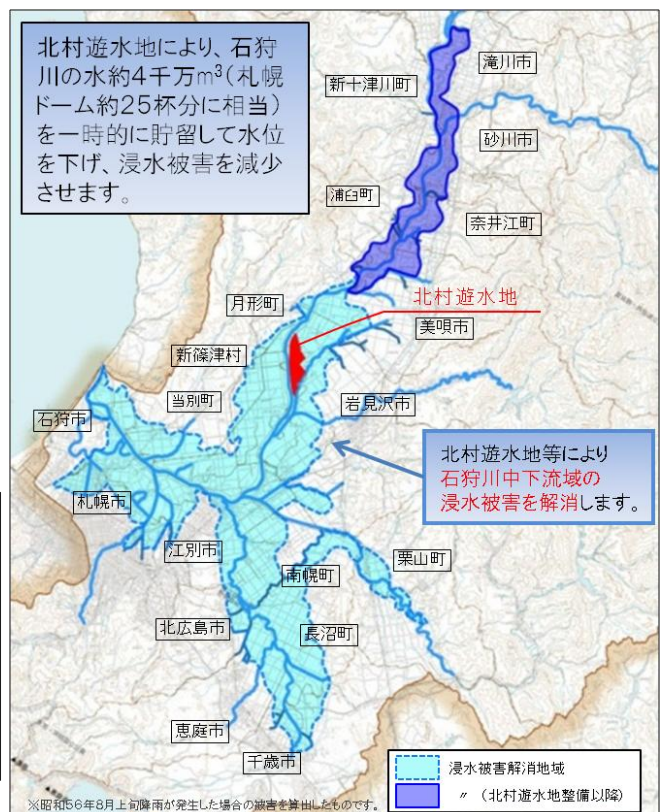
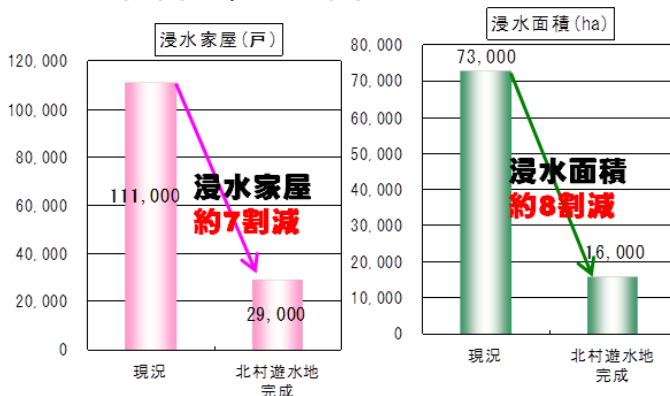
北村遊水地整備箇所



地役権とは、土地の所有者を変えることなく、大洪水が発生した時に限り、浸水した水を貯めさせていただく権利です。なお、遊水地機能の妨げになる工作物の設置等は制限されます。

遊水地の整備効果

北村遊水地の整備が完了すると、水系内の遊水地やダムで洪水を調節することにより河川の水位が低下し、石狩川下流の約 8 万 2 千戸の家屋浸水被害を解消することや洪水被害の軽減を図ることができます。



投雪ルールを守りましょう！

豪雪地帯である岩見沢市やその近郊では、市町村等が生活空間を確保するため除雪に取り組んでいますが、雪捨て場の確保に苦労しています。岩見沢河川事務所では、こうした地域の問題を解消するため、自治体と調整の上、洪水の流れに支障とならない河川敷の一部の箇所に関り、堆雪場として使用できるよう協力しています。この際、河川区域への投雪はとて危険な行為のため、堆雪場所や運搬のルールを明確にし、河川の管理に悪影響が出ないことを条件としています。

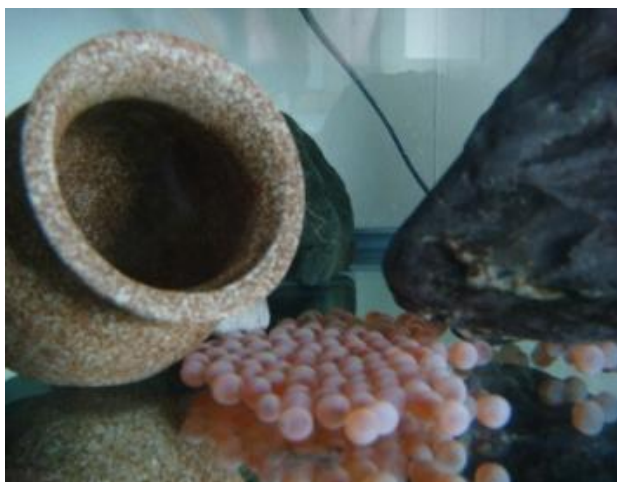
川への投雪は本人や地域の人も危険

河川への無計画な投雪は、大きな被害をもたらす危険性があります。冬季は河川の流量が少ないため、河道内に雪を捨てると雪が堆積し川が閉塞する可能性が高い状態になります。川が閉塞すると水が流れにくくなり、春の融雪時期に洪水を誘発する危険性があります。また、冬期の川やその周辺は足下が不安定であるため、川への転落の恐れがあります。河川区域に無計画に雪を捨てることは危険なため、絶対に行わないでください。



鮭の稚魚が孵化しました！

昨年12月、「幾春別川をよくする市民の会」は、孵化する直前まで育てた約1万2千粒の発眼卵を市内小中学校など47カ所に配布しています。河川事務所では500粒を受け入れ、事務所玄関で大切に飼育し1月に無事に孵化しました。育てた稚魚は今年も4月に幾春別川に放流する予定です。10月には川に戻ってきた鮭を見ることができるよう川を綺麗に守りましょう。



12月中旬撮影



1月上旬撮影

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL : 0126 (23) 9555



国土交通省